

観点1	基礎・基本の定着
観点2	主体的に学習に取り組む工夫
観点3	内容の構成・配列・分量
観点4	内容の表現・表記
観点5	言語活動の充実

教科名	国語
第1推薦	38 光村
第2推薦	2 東書

(国語) 各教科書の主たる特徴及び意見

発行者名	主たる観点	主たる特徴
2 東書	観点1	・各単元の教材文の前の導入ページに「言葉の力」の目標を示している。「言葉の広場」では、人物の行動や気持ち、性格を表す言葉が掲載されている。
	観点2	・学習の見通しとして「①議題を決める。②話し合いの計画を立てる。③グループで話し合う。(意図を明確にしながら計画的に話し合う。)」が示されている。
	観点3	・第2学年以上の各巻に「国語の学習の進め方」「〇年で学習する言葉の力」を設けてあり、年間を通じて「何をどのように学ぶか」が見通せるようになっている。
	観点4	・「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域に分け、各単元で身につける言葉の力を一覧で示している。
	観点5	・第3学年、第5学年、第6学年では「グループでの話し合い」、第4学年では、「グループの提案をもとにクラス全体で話し合う」が示されている。
11 学図	観点1	・各単元の冒頭に的のイラストとともに学習目標が示されている。巻末資料の「言葉のへや」では、行動を表す言葉が掲載されている。
	観点2	・「読むこと」では、見開き構成で学習内容を見渡し、「めあてを確認する」「学習に取り組む」「学習を振り返る」という学習過程を示している。
	観点3	・説明文教材の後に「書くこと」の教材が設定されている。第6学年には「読むこと」と「書くこと」、「書くこと」と「話すこと・聞くこと」の領域を関連させた複合単元が設定されている。
	観点4	・学習の進め方として、「国語の学習の進め方を確かめよう」と提示し、「つかむ」、「見方や考え方を学ぶ」「まとめる・ふり返る」「広げる」という学習過程を示している。
	観点5	・中学年ではクラス全体での話し合い、高学年では討論会やパネルディスカッションを提示し、様々な話し合いを示している。
17 教出	観点1	・巻頭の「〇年生で学ぶこと」のページに各単元の目標を示し、言葉の特徴や使い方に関する事項「言葉の木」では、行動を表す様々な言葉を示している。
	観点2	・学習の見通しとして、「①テーマを決めて調べる。②話し合いの準備をする。③『ミニディベート』を行う。④感想を交流する。」を示している。

	観点3	・1つの領域に集中して学習する単元と、各領域の学習を組み合わせ、総合的に展開する単元を配列している。
	観点4	・「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域に分け、「単元名」「めあて」「ここが大事」を示し、学習順に道で繋ぎ、地図として示している。
	観点5	・「グループでの話し合い」「クラス全体での話し合い」「ミニディベート」「パネルディスカッション」といった様々な話し合い活動が示されている。
38 光村	観点1	・各単元の冒頭に具体的な目標を示している。各学年の「言葉のたから箱」では、考えや気持ちを伝える言葉、人物や事物を表す言葉を示している。
	観点2	・「読むこと」の単元では、読みの着眼点と学習の見通しを示し、手引きで課題を一覧できるようにして思考の整理の仕方、学びの姿を示している。
	観点3	・一つの領域に集中して学習する単元と、各領域の学習を組み合わせ、総合的に展開する単元を配列している。
	観点4	・「つきたい力・学習すること」として、第2学年以上で「□学年で学習すること」では「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域ごとに、教材名・身につきたい力(たいせつ)・学習用語を示している。
	観点5	・「班での話し合い」「クラス全体での話し合い」「グループでの話し合い後クラスで共有」といった話し合い活動が示されている。